

会 議 録(要点)

会 議 名	平成29年度 第2回三芳町地域公共交通会議
開 催 日 時	平成29年12月22日(金) 午前10時開会 午前10時55分閉会
開 催 場 所	三芳町役場 3階 301会議室
主宰者氏名	三芳町長 林 伊佐雄
出席者	<p>会 長 三芳町長 林 伊佐雄 副会長 流通経済大学教授 板谷和也 委 員 三芳町区長会長 日下部辰男 委 員 株式会社ライフバス代表取締役 照井誠 委 員 三芳町交通審議会会長 忽滑谷徹雄 委 員 三芳町商工会会長 山田政弘 委 員 富士タクシー労働組合委員長 佐藤守 委 員 東入間警察署交通課交通規制係 係長 鈴木庸一 委 員 関東運輸局埼玉運輸支局 輸送担当 飯塚 (代理) 委 員 埼玉県川越県土整備事務所 管理担当課長 川角和嗣 委 員 三和富士交通株式会社 埼玉営業所 櫻村大輔(代理) 委 員 埼玉県企画財務部交通政策課 交通企画・バス担当 畦地英樹 委 員 三芳町社会福祉協議会 会長 篠原拓平 委 員 三芳町政策推進室長 百富由美香 委 員 三芳町道路交通課長 田中美徳 委 員 三芳町都市計画課長 近藤康浩</p>
欠席者	<p>一般財団法人埼玉県バス協会 専務理事 鶴岡洋 一般社団法人埼玉県乗用自動車協会専務理事 高原昭 福祉課長 三室茂浩 財務課長 大野佐知夫</p>
傍聴者	1名
事務局職員	<p>政策推進室 副室長 島田高志 政策推進担当 主幹 富田篤 政策推進担当 江田直也 宮腰孝信</p>
議 題	<p>1 開 会</p> <p>2 町長あいさつ</p> <p>3 議題 ・町内バス路線再編状況について</p> <p>4 閉会</p>

<p>会議結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より今後の公共交通について説明を行い、これに関して各委員より意見をいただいた。
<p>配布資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議次第 ・町内のバス路線の再編状況について ・時刻表案
<p>議 題 ・ 発 言 ・ 結 果</p>
<p>1 開会</p> <p>2 町長あいさつ</p> <p>3 議事 「今後の公共交通について」</p> <p>【質疑応答や意見の要点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確認になるが、現在の路線を平成30年3月末までに、新しい路線に変更する計画であったが、それが来年度に延期されることとなるが、その場合は現在運行している路線は変わらないということよろしいか。 ⇒その通りである。 ・土日祝日も配布された時刻表と同様になるのか。また料金については変わらないのか。 ⇒休日ダイヤになると運行本数は減る形になる。運賃については許認可になるが、エリアで220円となっているためそのようになると考えている。 ・時刻表は住民に周知をするのか。 ⇒決定した後については周知をする予定である。 ・この路線によって6000人～8000人が新たに利用可能になるとのことだが、これはどのように算出したのか。 ⇒都市計画基礎調査のデータを基に算出した数値である。 ・バスが通っていてもバスが通っていることを住民が知らなければ使われなかったことがある。住民へのPRとしてどのようなことを考えているのか。 ⇒広報紙やチラシ、行政各区をまわり、町の施策を説明する町づくり懇話会、また要望があれば個別に住民に対して説明会を実施したいと考えている。

・詳しいダイヤについては今後決めていくとのことだが、バス停の位置については住宅地や、企業を通ることになると思うので、企業と調整をして、企業が送迎を行っているものを、バスに振り替えるような交渉を行っていく予定はあるのか。

⇒安定的な路線とするために通勤通学者を取り込みたいと考えている。そのため路線が決まった後に、町から企業に対して声をかけさせていただき、交通手段のシフトをお願いできればと考えている。

・7ページの交通審議会の答申には今後の町の公共交通のあり方や将来像を示した計画の策定について書いてあるが、例えば路線の変更をした後に網形成計画をつくると計画の目玉がなくなってしまうと思うが、計画策定はどのようなスケジュールを考えているのか。

⇒まずはライフバスの再編を進めて生きたいと考えている。それと並行して、網形成計画になるかは分からないが、町の公共交通の将来像を示したものを作成したと考えている。

⇒再編が終わった後に、再びデマンド交通やコミュバスをやるのであればいいが、再編が目玉となるのであれば、網形成計画の策定を同時並行で進めていくのがよいと思う。

・グランシアなどはスクールゾーンの影響で通勤時間帯に通らなくなるので、そのことについては周知徹底をしないと混乱をと思う。またバス停まで歩いていけない、本当に困っている人が増えていく中で、将来のことを考えて計画していかないとすぐに行き詰ってしまう。先のことを考えて進めていくことが優しい福祉の街づくりであるし、住民のための公共交通だと思う。

⇒時刻表などが決まったら周知をしていきたい。またバス停まで歩いていけない人については、交通審議会や地域公共交通会議から意見をいただき、また議会からも一般質問があり、タクシーの運賃補助や、バス回数券の購入補助についても来年度予算編成の中に盛り込むことを考えている。新たな事業については毎年ホームページに公開してご意見を聞いているが、重要な施策であるため、年明けには区長会長や社協会長や地域の方など多くの方からご意見をいただきたいと考えている。

・ライフバスの再編を早く進めていただき、再編後のデータをもとに、更に良くしていくように進めてもらいたい。

・再編についてはライフバスにご協力をいただいている中で課題等もあると思うのでご意見をいただければと思う。

⇒政策推進室と協議をして、時刻表を作り上げたてベストではないが、ベターであると感じている。実際に走っている訳ではないので、不確定な部分があり調整が必要だと思うので、その点に承知してもらいたい。まだバスを通していない地域でかつ住宅地のため乗務員の教育には時間をかけさせてもらいたいと考えている。当社としては道路が拡幅し、路線が確定し、バス停の場所が決まってスタートということになる。

・道路の整備状況について意見があったため、道路交通課長より進捗状況の説明をお願いしたい。

⇒平成29年の4~5月に物件調査等を行い、6月に地権者に対して金額の提示を行った。現在

は検討してもらっている段階であるが、前向きに検討していただいている状況である。

- ・ 今回のライフバス再編だけで町内の公共交通の問題が解決できるわけではなく、長期的な視野で町内の交通、更に街づくりを考えていければよい。それぞれの公共交通には適材適所があるため、バスだけでなく、タクシーや貸切バスの活用についても検討し、計画に入れていくのがよいのではないか。特に特定貸切バスについては多くの企業バスや淑徳大学のスクールバスが町内を走っており、それらを町民が使えるようになればより便利になるのではないかと。

- ・ 狭い範囲での最適化だけではなく、大学や企業、地域との共生あるいは協力体制なども含めて考えていくとよいだろう。

4 閉会